

---

# 神為りし美女

沙華

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

神為りし美女

### 【コード】

N8019H

### 【作者名】

沙華

### 【あらすじ】

「醜きと美しきと、どうして人は区別するのでしょうか？」

(前書き)

大人向け童話です

童話じゃないと思って頂いた方がいいかもしれません

王の前に、  
馨カケラしい美女がいた。

王は国中から美女を集め自らの側室とした。

今日の前にいるのはこの国一と讃えられる絶世の美女。  
絹のような褐色の肌と琥珀色に輝る瞳、  
風がそよげば艶を含み波打つ黒髪を持っていた。

そして、その美女だけが大国の王の側室となるのを拒んだ。

「どうしてお前は私の傍に来ようとせんのだ」

女は蛇使いの笛の音のような響く甘美な声で答えた。

「もしあなたが、力づくで私をものにしようと言うのなら、それはいつでもできるでしょう。」

けれどあなたはそれを決ましようとはしない。思いつかぬとも言えるくらいに。

私はあなたのそんなところに惚れてしまったのです」

「惚れた、というならば私の側室となるがよいに」

「いいえ、惚れたからこそ、私はあなたのお傍にはいきません。どうかわかってください。私はあなたを愛しております。」

その意味を、どうかわかってください」

王はよく理解できないまま、けれどその美女を尊重して自由にしてやった。

国一の美女は、王に深く手を合わせ一礼すると、そのまま王宮をあとにした。

そのあと、国は急成長し、栄え、歴史にみまごうまでの繁栄を記した。

しかし王はもともとから持っていた持病をこじらせ、死んでしまった。

王のあとは、息子であった王子が継いだ。

せっかちな王子は継承式の一月も前から、王のように振る舞い、父であった王の側室を我がものとした。

そしてついに、今も尚、国一と讃えられるあの美女をも目の前に呼び寄せた。

絹で編まれた綬で捕らえられ王子の目の前に座らせられた神々しいともいえる女のその美しさに、

下級の者共は息を呑み。王子さえも溜息をついた。

「私はもうすぐ王となる。

お前は我が父の願いを聞き入れなかったな。それは父の醜さ故だろっ。

いくら王だったとはいえ、あれほどに醜きとなればお前ほどの美女、拒むのもわからないと言わぬ」

美女は太陽のような瞳に月の静けさを加え、王子を見つめた。

「あの方は醜くなどなかった」

「では何故願いを聞き入れなかった」

「…あの方に惚れてしまったから。私などはあの方の傍にいてはならなかったのです」

「惚れたからよらなかった？

私はお前を忌み嫌われる対象としたりはしない。私の隣をお前の居場所にしよう。」

「けして片隅になど置いたりはしないと約束する。民に堂々と名乗れる立場を約束しよう」

それでも断固として動こうとはしなかったその女は、ついに力づくで王子の元に連れて行かれた。

「わからないのか？時期王となる私の隣が、どれほどまでに居心地いいものか」

「……」

「では一度味わってみる。すればもう抜け出せなくなるであろう」

床を見つめたままだった女はすいと王子に顔を向けた。

今度ははつきりと月夜の静けさと、冷淡さを湛えたその瞳で王子を見つめる。

国一の美女にただ一途に見つめられる優越感に浸っている王子に向かって、女は言った。

「あなたはまだ王子なのでしょう」

「だが次の三日月の夜には王となる。もう7日とない」

「私はこの国を滅ぼすことはしない。まだ王子なら。

あなたが本当にこの国を考えているというなら運がよかったというのでしょうか。」

あなたの命、それだけで充分だ。

あなたが縛ってまで欲しかった私、

今度は私があなたを縛って、地獄までお供いたしましょう」

王子は殺された。

残ったのは恍惚を連れる美女と握られ血に濡れた大鎌。

目を見張り、立ち竦む侍女や兵士、下級の者たちに女は言った。

「いつか私を女神のようだと言った王はどれほど前の人だったでしょう。」

それでもあなたたちには、私が女神に見えますか？

死神が美しくないと、誰が決めたのでしょうか。

醜い美しいなど、見かけではわからぬことばかり……」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8019h/>

---

神為りし美女

2010年10月12日20時20分発行